がんゲノム医療について

がんは、細胞の遺伝子にさまざまな変化が生じることで発症・進行します。がんゲノム医療とは、「がん遺伝子パネル検査」などを用いて、がん細胞に起こっている多数の遺伝子変化を一度に調べ、その特徴に合った治療薬や治験・臨床試験などの可能性を検討する医療です。検査を受けても、必ず治療につながる遺伝子変化や薬剤が見つかるとは限りません。また、検査を受ける時期や適応は、がんの種類、これまでの治療内容、全身状態などによって異なります。
当院では、がんゲノム医療が治療選択の一つとなる可能性がある患者さんについて、主治医が病状や治療経過を確認したうえでご説明します。検査や専門的な検討が必要な場合には、琉球大学病院または沖縄県立中部病院へご紹介しています。
がんゲノム医療について関心のある方は、まずは担当の主治医へご相談ください。

●遺伝性腫瘍外来について

がんの多くは、加齢や生活環境など、さまざまな要因が重なって発症します。一方で、一部のがんは、生まれつき持っている遺伝子の特徴が発症に関係することがあり、これを「遺伝性腫瘍」といいます。
遺伝性腫瘍では、一般の方より特定のがんを発症しやすい場合や、若い年齢での発症、同じ方に複数のがんが発症する場合、ご家族・ご親族に特定のがんが多くみられる場合などがあります。
中頭病院では、「遺伝性腫瘍外来」を開設していて、すべての種類のがんについてご相談いただけます。当院で治療中の方だけでなく、院外の医療機関からのご紹介も受け付けています。

●このような方はご相談ください

- ご自身のがんが遺伝によるものではないか心配な方
- 比較的若い年齢でがんを発症された方
- これまでに複数のがんを経験された方
- ご家族やご親族に、同じ種類または特定の組み合わせのがんが多い方
- 遺伝学的検査を受けるかどうか迷っている方
- 遺伝学的検査の結果について詳しい説明を希望される方
- ご家族への影響や、今後のがん検診・予防について相談したい方

外来では、ご本人の病歴やご家族のがんの状況を詳しく伺い、遺伝性腫瘍の可能性、遺伝学的検査の必要性や利点・注意点、今後の検診や予防方法などについてご説明します。相談したからといって、必ず遺伝学的検査を受けなければならないわけではありません。
遺伝に関する情報は、ご本人だけでなくご家族にも関係することがあります。患者さんのお気持ちやご希望を尊重しながら、一緒に考えていきます。